

高久美浜 同窓会報

発行
久美浜高校同窓会
会報編集委員会

TEL 0772(82)0069
FAX 0772(82)0690
URL <http://www.kyoto-be.ne.jp/kumihama-hs/>

ごあいさつ

会長 岡田 修

(高26回・昭和49年卒)



会員の皆様には、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

故郷・久美浜町は、むかしも今も人は優しく、四季の色がきれいなまちです。特に西日本で唯一の特Aランクである丹後のコシヒカリをはじめ

として、果樹・魚など、食の宝庫です。これからはカニやカキも美味しくなります。久美浜町永留のコウノトリの家族「五羽」も元気に飛び回っています。是非、沿線の景色がきれいな近畿タンゴ鉄道に乗って帰郷してください。

京丹後市の「小学校再編計画」に基づいて久美浜町で一つになる中学校と、田村・神野・湊の三つが統合される小学校の校名も「久美浜中学校」と「かぶと山小学校」に決定し、二十五年四月の開校に向けて、校舎の改築、通学パスの整備など順調に進んでいます。生徒は久美浜中学校が二五八人(高龍一〇〇人・久美浜一五八人)、かぶと山小学校は一五九人(田村四〇人・神野六十八人・湊五十一人)です。小学校では「運動会や発表会がにぎやかに」とか、中学では「クラブ活動の数が増える」とか話題になっ

ています。子供たちにとって、楽しい学校になるように祈っています。

さて、今年度の久美浜高校同窓会の事業では、十月に「日本人体育教師としてエチオピアで生きて」と題して、今村高士先生(兵庫県立浜坂高校教諭)の講演会を実施しまし

た。今村先生は平成八年の本校卒業生で、在学中は、カヌーやスキーで全国大会に出場されています。平成十七年から十九年まで青年海外協力隊員として、アフリカ大陸・エチオピアで体育教師として活動されました。現地の学校で体育を教えるにも運動ができる道具や施設がなくて自分で作ったとか、貧しい生徒も多かったです。勉強する努力と情熱など見習うものはたくさんあったなど、ハラハラ・ドキドキした体験を熱く語って頂き、実りある講演会でした。最後にお願ですが、会報

発行賛助金(二〇二、〇〇〇円)が不足していて、例年発行している会報が存続の危機に直面しています。どうか同窓会の現状をご理解の上、ご協力頂きますようお願いいたします。

御支援 ありがとうございます

校長 三好 正志



同窓会の皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

本年三月に久美浜高等学校第二十八代校長・小田滋夫先生が定年退職されました。後任である私は、小田校長の後を引き継ぎ、微力ながらも精一杯努めたいと考えております。

また、今年度は、前同窓会長の岡 眞子様が府立学校における学校運営協力者として京都府教育委員会教育長表彰をお受けになりました。岡様は、平成十年から十九年度までの十年間、本校同窓会の副会長、更に二十年度から二十二年まで会長として御活躍されました。今回の表彰は誠に喜ばしい限りです。

さて、総合学科である本校は、生徒達が目標や個性に応じて学びを深め自身を磨き高めることのできる学校として教育活動を推進しております。四つの系列に分かれ、生産科学系列は、植物や自然を相手にした農業教育をとおして自分

を豊かにするとともに環境問題にも関心を持つ生徒を育成し、福祉系列は、将来的に福祉や介護の職に就き社会貢献できる生徒を育成、文理特修系列は、大学等の上級学校に進学し高い専門性を身につけて社会に貢献しようとする生徒を育て、教養系列は、資格取得に挑戦しながら自分の個性や得意分野を伸ばし社会貢献できる生徒を育てています。

また、部活動では、カヌー部がインターハイや国体などの全国大会で準優勝するなど活躍をしています。他にも、今年度は近畿ノーギヤ・ペンチプレス選手権大会で日本新記録を樹立した生徒もいます。文化部も茶道部や吹奏楽部が地元地域に出て活躍しています。

同窓会の皆様におかれましては、校訓「意欲・克己・創造」を胸に、地道に努力し個性を伸ばそうとする生徒達への応援をどうかよろしくお願いたします。

後になりましたが、久美浜高校同窓会のますますの御発展と会員の皆様の御活躍をお祈りいたします。

支部だより

東京支部

美しいふるさとを想う

小谷 克己(12回生)

昨年の大震災で東北は美しい自然が破壊され、福島近辺の市町村では放射能で汚染されました。除染の仕事を私もやっています。このようなことに携わっていますと、黄金の稲穂、紅葉の山々、鈴なりの柿の木など、久美浜の美しい景色が思い浮かびます。

同窓会の皆さんお元気ですか。東京支部では久美浜にゆかりのある人は誰でも入会できる「東京久美浜会」を結成して一緒に活動しています。いわば、拡大久美高同窓会です。この会は、5月の最終土曜日(今年は26日)にいつも



の南国酒家で開催しました。三好久美高校長及び岡田同窓会長等の来賓にもお出でいただきました。中国料理をいただきながら近況報告や郷里の思い出話でにぎやかな集いとなりました。同窓生の田中豪平理事がリーダーの親父バンドがサックス演奏で会場を盛り上げました。4月には、久美浜中・高龍中の修学旅行中に交流会も開催しました。

10月30日にはゴルフ大会を茨城県の江戸崎CCで開催しました。舞鶴市や宮津市なども加えた「東京丹後人会」もあり、我々同窓生も参加しています。今年は10月27日にホテルエドモントで開催され、着飾った女性9人がフラダンスを踊ってくれました。10月30日は好天に恵まれ、鎌倉の散策と食事会が行われました。これらに参加できる方を募集しています。お知り合いの方をご紹介ください。

東京久美浜会事務局

電話

080-1051-1043

メール

katu-kotani@mail.plala.or.jp

京都支部

「支部総会に集まろうや!!」

古村 義貴

今年も支部総会を二月十一日に行う予定です。今年で十八回目を迎えますが、残念なことに回を重ねる度に参加者が減り、発足当時一〇〇名を超える参加者がありました。一昨年は八十名を切る危機的状況にまで陥りましたが、昨年は役員の皆様のご努力でなんと八十名を超える参加にまですることができ、ほっとしているところで。原因についてはいろいろあると思いますが、第一は、出席者

の高齢化です。出席を続けていただいた方達にも健康上の問題が発生し、参加が難しくなってきたり、もともと関心のない人達は、従来どおり、出席していただけません。第二に、若い人達においては、関心のない人達の割合が高く、参加率は極めて低くなっております。支部の行事は現在の所、年一回の総会、会食、約四時間懇談です。しかし、現状、参加して

京阪神久美浜会

第10回京阪神久美浜会総会・懇親会を開催!

藤原 俊文

京都は秋晴れの爽やかな天気。に恵まれ「京阪神久美浜会」の平成24年度(第10回)総会・懇親会を盛会裏に開催することが出来ました。

来賓の京都府太田昇副知事より北部の交通網の整備状況と見通しや国道9号線の渋滞緩和策の実現の見通しがよいよついできた、更に丹後地域の観光と食を結び付けて活性化を図っていくことなどの強いメッセージを頂きました。

三好校長先生代理で岡田佳之事務長には、久美校だよりをお届け頂き、スポーツ面で陸上部女子の活躍、文化面で茶道部男

いただける人は限られていて、しかも、五十歳代から八十歳代の高齢の人達が目立ちます。これらを踏まえ、対策といたしましては、まず、全ての会員に、自主的なご参加をお願いするとともに、これまで参加したことのない、あるいは、参加経験の少ない同級生、先輩、後輩をお誘いいただき、ご出席を促していただけるよう協力を依頼する。

第二に、若い人達につきましては、同じ卒業年度の人の中から幹事を選任していただき、その人を中心にして、ご出席を促していただく働きかけを強めていく方法等、役員の皆様のご意見を伺い、効果的な方法を実践

状況を報告して頂き、郷里への関心を高めました。久美浜市民局月岡良子局長に「久美浜町の学校再配置計画とこれからのまちづくり」と題して、ご講演をして頂きました。久美浜町の人口と小学生の推移を30年前と対比し、また近い将来、平成30年の生徒数の見通しのご報告、非常に危機的な様子を再認識しました。久美浜小中学校の地域の枠組みを

変える学校再配置を25年4月、26年4月に向けて、8地域(旧村)が、3小学校校区に大きく再配置されること、出席者一同今更ながらに驚いています。閉校舎跡地の利活用については、活性化協議会を設立、アイデアを募集しているが、出来る



して行きたいと考えております。

だけ社会体育施設や高齢者向け配食サービス・介護施設・市民大学等で活用していききたいとの考えを示して頂きました。住みやすいまちづくりの実現に出席者一同、エールを送りたい気持ちでいっぱいになりました。来年は、11月9日(土)に、今回と同じ「ホテル日航プリンセス京都」で開催を予定しています。皆様多数のご参加をお待ちしています。



平成24年度 同窓会講演会

演題「日本人体育教師として エチオピアで生きて」

今村 高士 氏 (本校OB)
講師 (兵庫県立浜坂高等学校 教諭)

去る、10月13日(土)午後7時より同窓会恒例の講演会を久美浜市民局において実施しました。

講師に、本校OBの今村高士先生(旧姓:安井)(平成8年3月卒業)をお迎えし「日本人体育教師としてエチオピアで生きて」と題して講演していただきました。

今村先生は大学卒業後、リュック一つで世界一周旅行を敢行されるなど好奇心旺盛な方です。府内の高校の保健体育科の教師として勤務された後、平成17年から2年間、青年海外協力隊員としてアフリカ大陸・エチオピアに行かれました。

講演では、エチオピアの国についてと青年海外協力隊(JICA)についての話からはじまりました。先生は現地で体育教師の協力隊員として、高校体育の授業を見学されたとき、体育の授業が座学中心で行われていることに大変驚かれたそうです。

そこで現地の高校を見て回ると、粗末でほんのわずかな道具しかない、グラウンドが整備されていない、教師が体育を実技として教えた経験がないというのが現実だったそうです。そこで、生徒にはラジオ体操のような指導から入り、実技中心の授業の楽しさを伝えていかれたそうです。

また、エチオピアの先生にも実技指導の知識ややる気高められるように、指導者講習会等も実施され現地の実状の中で、できる体育の授業についても検討されたそうです。



ほかに、現地の大変貧しい生活を見て、たくさんの人と関わりを持ってこられました。この2年間で体験したり感じたことをどう生かすかは、今後の自分の人生の大きな宿題であり、考え続けなければならないと締めくくられました。

当日は小中学生も含めたくさんの方々に参加いただき、にぎやかな講演会となりました。



クラス会報告

昭和20年卒 第四十四回 久美農

松田 せつ子

今年も同級会ができました。時をきざんで来た事のよるこの思いで毎年集まっております。京丹後市にお暮らしの方も多いですけども神戸からも毎年参加して下さいます。特に今年は八十四才(ふたしじゅうに)の年で又よるこびもひとしおで

楽しい一日を過ごし、又、来年をと、解散しました。宿は民宿「時の宿まつだ」



平成24年6月15日 京都府立久美浜高校昭和20年卒業生同窓会

昭和27年卒

「六十年振りの 母校訪問」

二十七年会 第十回同窓懇親会

長砂 幸男

卒業六十周年の節目に当たる、平成二十四年四月二十六日、網野町木津、佳松苑に於て第十回懇親会を開催致しました。

七十九歳の年齢にもなる

と、健康面での欠席者も多し中、久しぶりの懐かしい顔ぶれもあり、十二名の出席で開会致しました。

最初に、三十数名の物故者に黙祷を捧げた後、校歌斉唱に続き、二十七年会の歌を



久美浜高校27年会 第10回懇親会 於佳松苑 平成24年4月26日



斉唱して宴会に入り、カラオケで美声を披露したり、福引で豪華景品をゲットして喜ぶなど、和やかに懇親を深めました。

日常生活や健康面など、歳相応の話でもり上がり、日付けが変わるのも忘れ語り合いました。

翌日の二十七日には、六十年振りに母校を訪問し、増馬副校長のご案内で六十年前を懐かしく回想しながら農場を見学しました。

見学後、大正十三年十月に、府立久美浜農学校として改築移転さ

昭和31年卒

「くみはま31会」 (昭和三十一年普通科卒業) 同級会

谷口 則夫

三年に一度の割合で開催しておりました「くみはま31会」ですが、年々齢を増すごとに参加人数も少なくなるであろうと、二年に一度の開催に全員意見が一致し今回は京都で開催の運びとなりました。

遠くは北海道、茨城、東京から地元京阪神、久美浜からと、初めて参加してくれた二名も含め二十四名が、ホテル ルビノ京都堀川に同士が集まってくれました。

我々が卒業してから五十五年が経ちますが、高校生時代にタイムスリップするのに時間はかかりませんでした。○○ちゃん ○○子ちゃんと呼び合い、年をとった高校生といった風情で心がなごみます。

一次会 二次会と宴は絶好調、最後は三本締めで幕をおろしました。

翌日は、天気にもめぐまれ初夏の陽光の中、金閣寺を参拝し、植物園を



昭和31年卒 同級会 平成24年4月22日 於佳松苑

見て廻り、京都を満喫しました。次回、二年後は喜寿の祝いもかねての会になりますので、丹後の郷里で、お世話になることを約束し帰路につきました。

昭和36年卒

「あれから50年」の 記念同窓会

(昭和三十六年度卒業生)

幹事代表 和田 三郎 (事務局 藤原 俊文)

久美浜高等学校卒業五十周年を記念し、同窓会の開催を呼びかけたところ、全国で活躍している同窓生が「懐かしい」「今回は・・・」と集い、同窓生四十三名と、先生も四名参加していただき、盛大に開催することができました。会場は京都タワーホテルでしたが、地元丹後地区からは十五名が早朝からマイクロバスで駆けつけてくれました。

先生は、東田(旧姓白波瀬)寿美子先生、塩見讓治先生、北垣敬三(旧姓和多田)先生、井敏宗先生に参加していただきました。お元気なお姿を拝見し、また当時の話題や現在の心境等、力強いスピーチに同窓生一同、改めて気を引き締めて、ウカウカしてはられないぞ!と、逆に勇気と元気をいただいたものでした。

今回のような、普通科・家庭科・農業科合同の同窓会は三回目となります。会場は尽きることのない往時の話題で盛り上がり、アツという間の同窓会でした。

「はて誰だっけ?」と思うのもつかの間、ひと言ふた言交わすうちに五十年前に戻れる者、また、名前がわかるが顔と一致しない!が、失礼の無いよう笑顔で懸命に努力?する者等々、様々な光景の三時間でした。とにかく膝をつき合わせ懐かしいひと時をすごしました。

そして、今「古希」を迎える同窓生は、次なるステップにお互い元気に立ち向かい、そして近い内にまた同窓会を開催したいものだと、一層強く感じた一日でした。

最後に、同窓生の現状把握にあたり「久美高百周年記念判同窓会員名簿」が役立ち、幹事一同大変助けられたことを申し添えます。

昭和42年卒

地元・城崎で 同窓会を開催

今回の幹事 渋谷 博

久美浜高校Bクラス・昭和四十二年三月卒業の同窓会を開催しました。

我がクラスは、二年に一回のペースで同窓会を実施しています。今回は地元が当番をいたしまして、去る平成二十四年四月二十二日に兵庫県豊岡市城崎町の「西村屋ホテル招月庭」で大



晩餐会を、翌日二十三日には「コウノトリの郷公園」の見学と、出石町の見学とソバ食い大会をしました。

遠くは埼玉県をはじめ京阪神、地元から十七名の仲間が集まりました。今回、初めて参加した者もいて、宴会の席では昔の面影がなく、「誰だったかナー。○○さん？」と言つてしまいました。しかし、少し話しが進むと昔の美少年、美少女の頃のこと(今はその面影もありませんが…)が蘇つてきて懐かしさで、うれし涙となりました。宴会の最後はお決まりの舟木一夫の「高校三年生」と校歌

で締めくくりました。翌日の「コウノトリの郷公園」はあいにくの休みでしたが、前もってガイドさんを頼んでいましたので、コウノトリの話を聞かせていただきました。江戸時代はコウノトリを食べていたと聞き、驚きました。久美浜町にもあちこちの田んぼで見かけてい



まして、幸せのお裾分けをほしいと思つています。最後は出石町に行きました。ここでも事前に頼んでいたガイドさんから、戦国時代・幕末の頃の説明を聞き、お城と内堀、外堀の話など改めてしっかりと勉強させてもらいました。ソバ食い大会では、十七皿以上食べれば記念品がもらえるとのことでも忘れて腹一杯食べて全員が達成し、記念品をもらいました。最後の最後に、次回は二年後に京都市で開催し、全員参加することを固く誓つて涙・涙の中

昭和44年卒
3年A組
また逢う日まで！

還暦記念クラス会

幹事 岩佐(旧姓西下)由則

九年前、高校入学から卒業まで三年間担任をしていただいた梅本博之先生の御退職を記念して、クラス会を開催した際に、次回は自分達の還暦記念に集まろうと約束し、去る八月十六日、京丹後市久美浜町葛野の「すずらん」において実現の運びとなりました。

還暦とは言え、まだ元気で第一線で活躍するクラスメイトも多く、たいへん盛り上がりました。盆の行事などと重なり、出席が危ぶまれましたが、京都市内から駆け付けていただいた梅本先生をはじめ、仕事をやりくりして京阪神から出席してくれたクラスメイトも含め、二十人

が集いました。

久しぶりではじめは誰か分からない人もあり、ぎこちない雰囲気にもありましたが、さすが旧友、すぐに打ち解け、思い出話に花が咲きました。また、自分の仕事のことや孫達に係つて自慢話をしたり、悩みを相談したり、健康管理や若さ維持の方法など多方面に話及及び、延長に延長を重ね、閉会は何と開始から四時間後の午後四時三十分になつてしまいました。あらためて思うのですが、多くの思い出を共有し、利害関係や、年齢差や上下関係もなく、何でも話せる仲間がいることは本当に幸せです。未長く大切にしたいものです。

それぞれが、前向きに生活をして、十分健康に留意して三年か四年後に再会をすることを約束して、お開きとなりました。

今回、諸事情で出席できなかった皆さんも次回は是非出席していただいで、楽しいひと時を共に過ごすことができれば幸いです。母校である久美浜高校や同窓会のみますますの御発展と会員の皆様の御健勝をお祈りします。



同級会・クラス会
活動の紹介

私達の同級会活動(くみはま31会)

ブログ・同級会通信
紙上同級会誌の発行

私たちの同級会は昭和三十一年普通科卒業の「くみはま31会」です。

クラス会報告欄に「今年の同級会報告」がありますが、数年に一度「同級会」を開催しています。数年に一度という間隔は、この年齢になると状況が大きく変わることもあります。

同窓生の交流の手段として行つている、ブログ等インターネットを使った方法と同級会通信、紙上同級会誌の発行について紹介します。

いつでも元気な声や姿で、話をする機会を作るためにインターネットを使い、「ブログ」(非公開)を利用したり、テレビ電話(スカイプ)も利用しています。

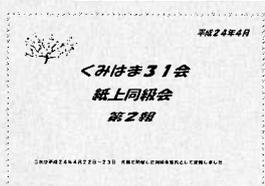
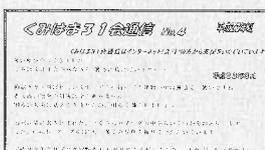
いまでは通信手段として、インターネット、ケータイ、スマートフォン、アイ・パッド、タブレット等いろいろな方法があります。カタカナ用語が多いので、当初はとつきにくいかもしれませんが、自分のできる範囲のことだけを覚えれば、それなりやり取りはできるようになります。

仲間との会話が楽しくなれば、より身近な道具になってきます。また、クラウド(オンラインストレージ)を利用して、各種のデータを共有できるようにしています。デジタルカメラで撮

影した画像を誰でもが見たり、ダウンロードしたりできるようにしています。同級会の記念写真は共有ファイルに掲載し、誰でも希望する写真をダウンロードしてプリントすることもできます。旅行写真も会員同士で楽しむことができました。動画も楽しむことができます。画像だけでなく、ラジオ放送(通常のラジオ、インターネットラジオ)から録音した音声ファイルもアップロードしています。今後まだまだ活用範囲が広がっていくことを期待しています。

インターネットを利用することにより、全国に散らばっている会員相互の距離が非常に近く感じられ、楽しい時を過ごす機会が多くなりました。もう一つの交流の方法として「くみはま31会通信」と「紙上同級会誌」を一年に数回会員に配布しています。前者は会員への通信とブログから抜粋した記事を掲載(約十ページ)後者は会員の近況を綴った冊子です。数年に一度開催する同級会の合い間に発行します。皆さんの同窓会の情報もお聞かせ下さい。

dog31@yahoo.co.jp (吉岡(喜)記)



頑張る久美高生



文化祭



文化祭



文化祭PTA模擬店



文化祭PTA模擬店



体育祭



体育祭



体育祭



PTA球技会



体育祭



体育祭



体育祭



体育祭



クリーン作戦 (甲山駅)



クリーン作戦 (甲山駅)



クリーン作戦



クリーン作戦



防災訓練



防災訓練



防犯キャンペーン



防犯キャンペーン



刈取り前の水稲圃場



水稲刈取り



ブドウの収穫調整



ウルトラマラソンボランティア

2012



生産科学系列先進地視察



生産科学系列先進地視察



丹後文化祭典



生徒会選挙



1年生カヌー実習



1年生カヌー実習



久美浜まるかじりまつり呈茶



久美浜まるかじりまつり呈茶

主なクラブ活動成績

〈第17回近畿ノーギア・ベンチプレス選手権大会〉

優勝 日本記録更新
3年 吉岡 寛奈 さん (橘中出身)

〈2012北信越かがやき総体 (カヌー競技)〉

カヤックシングル
200m・500m 第6位
3年 高谷 琢人 君 (橘中出身)

カヤックフォア
200m 第6位
500m 第4位
3年 高谷 琢人 君 (橘中出身)
3年 畑中 博貴 君 (久美浜中出身)
3年 服部 善行 君 (久美浜中出身)
2年 山添 真志 君 (大宮中出身)



〈ぎふ清流国体 (カヌー競技)〉

カナディアンペア (綾部高生とのペア)
200m 第7位
500m 第6位
3年 能勢慎太郎 君 (久美浜中出身)

カヤックペア
200m・500m 準優勝
3年 高谷 琢人 君 (橘中出身)
3年 畑中 博貴 君 (久美浜中出身)

カヤックシングル
500m 第8位 (入賞)
3年 服部 善行 君 (久美浜中出身)



平成24年度 同窓会 理事名簿

会長	岡田 修
副会長	岡田 高夫
副会長	森垣 敦雄
理事 一区	桜井 武
理事 一区	中島 毅
理事 二区	和田 喜孝
理事 二区	増馬 孝之
理事 川上	坪谷 栄一
理事 川上	野村 晃
理事 海部	小国幸太郎
理事 海部	松田 玲子
理事 佐濃南	奥田 幸男
理事 佐濃南	深田 功二(会報)
理事 佐濃北	北尻 幸彦
理事 佐濃北	松本 哲朗(監事)
理事 田村	中村 晴司
理事 田村	長砂 幸男
理事 神野	平林 昌英(監事)
理事 神野	黒田 啓正
理事 湊	藤野 均
理事 湊	鈴木 省樹
理事 旧中郡	吉岡 和行
理事 旧中郡	安見 義和
理事 旧竹野郡	井谷 實夫
理事 旧竹野郡	山口 一彦
理事 旧竹野郡	田家 一雄
理事 旧竹野郡	長田 征男
理事 与謝宮津	田崎 晴輝
理事 但馬	高田 爽司
理事 但馬	古橋 省三
顧問 校長	三好 正志
顧問 副校長	増馬 宗男
顧問 事務長	岡田 佳之

平成24年度 基本金予算書

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	摘要
繰越金	1,956,690	1,517,538	△439,152	
会費	43,000	45,500	2,500	卒業生500円×91名
雑収入	273	962	689	利息
合計	1,999,963	1,564,000	△435,963	

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	摘要
繰出金	400,000	400,000	0	通常費に繰り出し
教育充実支援金	82,425	170,000	87,575	久美高だより
合計	482,425	570,000	87,575	

平成24年度 通常費予算書

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	摘要
繰越金	458,929	361,705	△97,224	
繰入金	400,000	400,000	0	基本金より繰り入れ
会費	344,000	364,000	20,000	卒業生4,000円×91名
雑収入	24,059	295	△23,764	預金利息
会報賛助金	660,560	550,000	△110,560	
合計	1,887,548	1,676,000	△211,548	

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	摘要
会議費	0	3,000	3,000	理事会・事務局会議
事業費	1,243,620	1,345,000	101,380	
会報発行	1,084,193	1,130,000	45,807	会報発行に係わる全経費
卒業生記念品	58,527	65,000	6,473	卒業証書ブック
定例地区委員会	0	0	0	定例地区委員会
講演会	82,000	130,000	48,000	OB等による講演会
支部活性化対策	18,900	20,000	1,100	各支部総会
支部等助成費	70,000	80,000	10,000	各支部総会
旅費	87,508	100,000	12,492	各支部総会他
通信運搬費	26,485	20,000	△6,485	理事会案内他
事務費	8,230	10,000	1,770	用紙他
報償費	90,000	90,000	0	支部総会祝金、学年同窓会奨励金
雑費	0	20,000	20,000	
予備費	0	8,000	8,000	
合計	1,525,843	1,676,000	150,157	

会報賛助金のお願い

この会報は、多くの会員と母校、ふるさと相互の交流の場であり、互いの絆であるとの思いから発行を続けてきました。皆様のお力添えのもと続刊して参りましたが、発刊にかかわる経費の面で大変厳しく発行に困難をきたしているのが現状となっております。会員の皆様には、この苦境を御理解いただき会報賛助金による御支援を宜しくお願い申し上げます。

1口 2,000円

御送金は、同封の郵便振込用紙(振込手数料は一切不要)、又は下記口座を御利用下さい。

会報賛助金の振り込み先

郵便振替 久美浜高校同窓会(会報係)

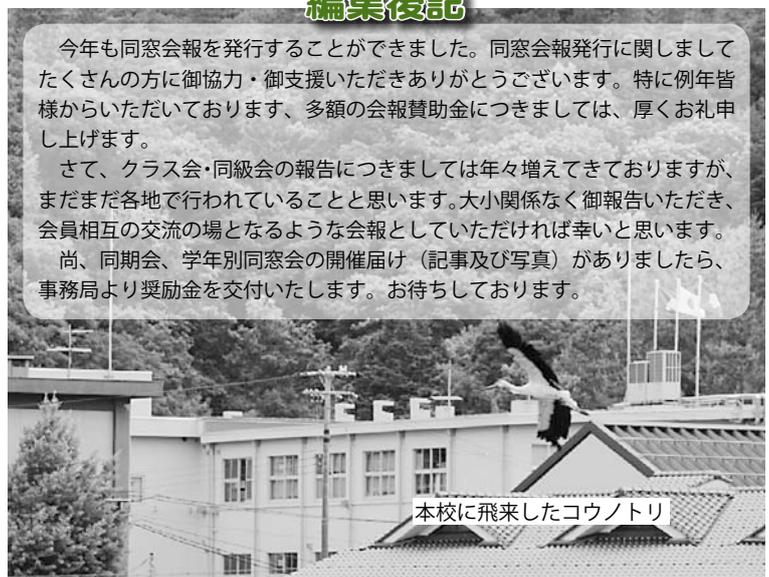
01020-6-37810

編集後記

今年も同窓会報を発行することができました。同窓会報発行に関しましてたくさんの方に御協力・御支援いただきありがとうございます。特に例年皆様からいただいております、多額の会報賛助金につきましては、厚くお礼申し上げます。

さて、クラス会・同級会の報告につきましては年々増えてきておりますが、まだまだ各地で行われていることと思います。大小関係なく御報告いただき、会員相互の交流の場となるような会報としていただければ幸いです。

尚、同期会、学年別同窓会の開催届け(記事及び写真)がありましたら、事務局より奨励金を交付いたします。お待ちしております。



本校に飛来したコウノトリ

久美浜高等学校の最新情報、総合学科についての詳細はこちらへ



E-mail: kumihama-hs@kyoto-be.ne.jp

久美浜高校ホームページ: http://www.kyoto-be.ne.jp/kumihama-hs/